

静岡県立藤枝北高等学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成30年6月7日（木）

6月7日（木）、静岡県立藤枝北高等学校を訪問し、選択授業で「郷土史」を選択している14名の3年生と学習しました。センターの紹介と周辺地域の遺跡の解説を聞いた後、「土器分類」と「火起こし」の体験を行いました。最初は硬かった表情も、はじめて見る本物の土器や石器に驚き、さらに本物を分類する体験には興味津々でした。本物に触れたこの体験学習がこれからの学習に生かされるとともに、地域を愛する心を育んでくれることを期待しています。

土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器（すえき）の3つの時代の土器の特徴は小中学校で学習済みのはずでしたが、実際に本物の土器片を直接手にとって分類するとなると難しい作業でした。見た目や肌触りなどそれぞれの時代の土器の特徴や違いを見つけて土器を分類しました。



火起こし体験



実際に挑戦してみると、火起こしは大変でした。最初は、なかなか火が付きませんでした。さすが高校生、コツを覚えると、次々と火を起こすことができました。火口に火種を移し、火にするまでには、煙が目にしみてつらかった。そんな、昔の人々の苦労や工夫もいろいろと感ずることができました。